

産婦人科検診台 DG-770

【警告】

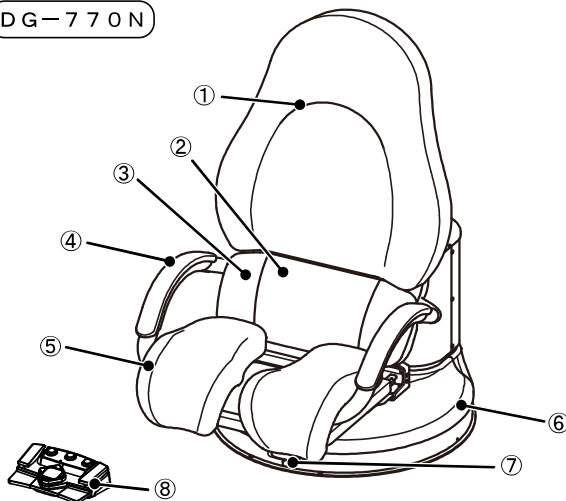
- 1) 診療、処置を行う前に必ず患者の問診を行い、股関節に疾患がないかの確認を行うこと。
[股受けが自動的に開脚を行いますので、患者に危害を及ぼすおそれがあります。]
- 2) 患者および使用者の手・指・身体・衣服の一部を機器の可動部や可動部の周辺に近寄させないこと。
[挟まれて人身事故の原因になります。]

＊ ＊ 【形状・構造及び原理等】

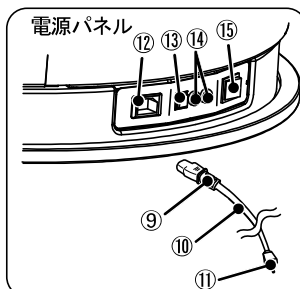
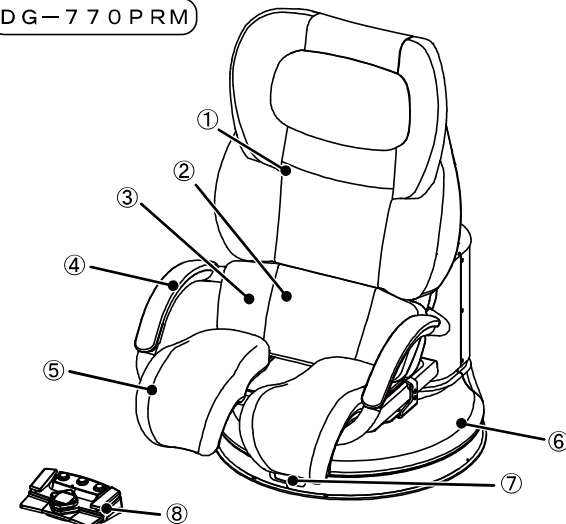
〈装置外観図〉

本製品は外観が同じ本体回転仕様と固定仕様があります。

DG-770N



DG-770PRM



- | | |
|-----------------|-----------|
| ① 背モタレ | ② シートカバー |
| ③ シート | ④ テスリ |
| ⑤ 股受け | ⑥ ベース |
| ⑦ 赤外線受光部 | ⑧ フットスイッチ |
| ⑨ 機器用コネクター | |
| ⑩ 電源コード | ⑪ 電源プラグ |
| ⑫ 機器用インレット | |
| ⑬ プリセット高さ設定スイッチ | |
| ⑭ 電源ヒューズ | ⑮ 電源スイッチ |

- (1) 本体寸法・・・W700 mm×L1260 mm×H1320 mm
- (2) 質量・・・185kg(本体回転仕様)
165kg(固定仕様)
- (3) 電気定格・・・AC100V 750/700VA 50/60Hz(本体回転仕様)
AC100V 600/600VA 50/60Hz(固定仕様)
- (4) 動作原理・・・電動油圧式

〈性能〉

- (1) 初高……………450 ± 10mm
- (2) 検診時シート角度……シート角度: 0 ± 2°
- (3) 検診時チルト下限角度・シート角度: -10 ± 2°
- (4) 本体昇降……………【電動油圧式】
昇降ストローク: 280 ± 10mm
- (5) 本体チルト角度………【電動油圧式】背角度: 77 ~ -6 ± 2°
- (6) 本体回転……………【電動油圧式】
左回転: 0 ~ 110 ± 5°
(本体回転仕様のみ)
(任意設定・右回転設定可)
- (7) 旋回時チルト角度……背角度: 67 ± 2° (10° 上昇)
(本体回転仕様のみ)
- (8) 股受け開閉機構………【電動油圧式】
左右連動開閉 (左右単独開脚可)
- (9) プリセット操作 P1………本体チルト上昇(10°) → 本体回転
→ 正面停止(問診位置) (本体回転仕様のみ)
- (10) プリセット操作 P2………本体チルト上昇 → 本体上昇
→ 股受け開脚
- (11) オートリターン操作 R……股受け閉脚 → 本体下降・本体チルト下降
→ 本体回転 → 本体チルト下降(10°)
(本体回転動作は本体回転仕様のみ)
- (12) フットスイッチ操作電圧……DC6V(乾電池)
- (13) 使用期間……非連続動作
最大作動時間3分
デューティサイクル1:5
- (14) 電撃に対する保護形式……クラス I B形装着部

〈動作保証条件〉

下記の条件にて使用すること。(但し、結露しないこと)

温度……10℃～40℃

湿度……10%～90%

気圧……700hPa～1060hPa

【使用目的又は効果】

本製品は、婦人科領域の診療および処置時に、女性の体位を適切な位置に支持するために用いる調節可能な診療、処置台です。

【使用方法等】

〈設置方法〉

- ・本製品は、必ず平らで丈夫な床の上に設置すること。
床面が5°以上傾いている場所へ設置すると本製品が転倒するおそれがあります。(取扱説明書の「設置」の頁を参照のこと。)
- ・設置位置は回転しても壁に当たらない場所にする

〈使用方法〉

- ① 機器用インレットに機器用コネクターを差し込み、電源プラグをアース端子付コンセントに差し込み、電源スイッチを入れます。
- ② 本製品の操作はフットスイッチで行います。
- ③ 診療・処置終了後は電源スイッチを切り、電源プラグをアース端子付コンセントから抜いてください。

本製品の詳細な操作方法及び使用方法については付属の取扱説明書「操作方法」の頁を必ず読むこと。

本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認してください。

1E07MCC0

＊ ＊【使用上の注意】

- 〈重要な基本的注意〉

 - 1) 機器周辺に、患者以外（特に小児等）を近づけないこと。
やむを得ず、患者以外を近づける場合、機器の操作中は、患者以外の安全にも考慮すること。〔挟み込みによる怪我の防止〕
 - 2) 本製品は出荷時に消毒・滅菌などがされていないので、使用前に清拭作業を行なうこと。
 - 3) 人体質量135kgより大きな人、及び同時に複数の人を乗せないこと。
 - 4) 薬液等が樹脂や金属塗装面に付着した場合、樹脂が変質したり、塗装が剥れ、内部金属が腐食するおそれがあるので、速やかに清拭してください。
- ＊

 - 5) 他の医用電気機器と併用する場合、電磁的影響による不正確な動作が発生することがないか使用前に確認すること。
 - 6) 内診室にお連れの小児等が入るときは、本製品及びフットスイッチに近づけないようにしてください。〔小児等が近づくと不意に操作してしまい、人身事故や物損事故などの原因になります。〕
 - 7) 検診ポジションへの移行のプリセット操作は、必ず患者の足が股受けの上になっていることを確認してから行うこと。
 - 8) オートリターン操作は、必ず患者の足が股受けの上になっていることを確認してから行うこと。
 - 9) 本製品の作動前、および作動中は、作動範囲内や周りに人の身体や手足、障害物がいないか十分注意すること。
 - 10) オートリターン操作が完全に終わるまで（10°の本体チルト下降）、患者が本製品より降りないように注意を払うこと。
 - 11) 股受の開閉操作、およびオートリターン操作、プリセット操作を行う際は、患者の手の位置がテストリ、またはお腹の上にあることを確認して操作を行うこと。
〔指を挟んでけがをするおそれがあります。〕
 - 12) 患者の乗降は、非常の際以外は必ずオートリターン位置で行うこと。〔患者の落下や、本製品の転倒及び損傷のおそれがあります。〕もし止むをえず非常時オートリターン位置以外で患者を下ろす際には、患者の落下や、本製品の転倒及び損傷に十分注意すること。〔特に背モタレの先端に手をつくなどして荷重がかかった場合、本体が後方に傾いて、患者がバランスを失い、落ちるなどのけがをするおそれがあります。〕
 - 13) フットスイッチ操作を行うときはフットスイッチを本製品の作動範囲外の検診ゾーンに置いて設定、操作を行ってください。〔作動範囲内にあると、作動中に患者に触れて不用意に動いてけがをしたり、本製品に当り、物損事故の原因になります。〕
 - 14) プリセット操作、オートリターン操作および閉脚検診位置操作時は患者から目を離さないこと。作動中に患者の手および足が機器の可動部や可動部の周辺に近づいた場合は、フットスイッチのいずれかのペダルおよびスイッチを踏んで即座に機器の作動を停止させること。挟み込んでしまうとけがをするおそれがあります。
 - 15) プリセット操作、オートリターン操作および閉脚検診位置操作を途中で止めたいときは、フットスイッチのいずれかのペダルおよびスイッチを踏むこと。踏んだ位置で作動が停止します。作動を再開するにはいったんすべてのペダルおよびスイッチを離れた後、再びいずれかのフットスイッチを操作してください。

＊ ＊【保管方法及び有効期間等】

- 〈耐用期間〉

 - ・本製品の耐用期間は、販売後10年間です。
〔自己認証(当社データ)による〕
 - ・背モタレ、シート、股受けなどのクッション類およびスイッチ類は使用環境により異なります。

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検事項（日常点検）〉
 詳細については取扱説明書の「保守点検」の項を使用前に必ず読むこと。

点 検 頻 度	点 検 内 容
始業前	設置状態の確認
	電源スイッチの確認
	フットスイッチ操作での作動確認
	電源スイッチを入れてピー、ピー、ピーと断続的な警告音が鳴らないかの確認
	検診ポジションの位置で自然に下がらないことの確認
	外観部品の状態確認
	感染症等の予防のため使用前に清掃を行う。

〈業者による保守点検事項〉
 定期点検など業者による保守点検を要するときは当社または当社の指定する業者、若しく修理業者などの適切な資格者に依頼すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 タカラベルモント株式会社 TEL：06-6212-3620
販売業者

本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認してください。